



ホエールウォッチ

カイコウラ | ニュージーランド



TOUR INFORMATION

キアオラ(こんにちは)、ホエールウォッチ・カイコウラへようこそ
このインフォメーションパックは、本日のホエールウォッチツアー。ここに記載されている以外にもご質問等がありましたら、ホエールウォッチスタッフまでお問い合わせください。

ホエールウォッチ・カイコウラについて

私たちホエールウォッチ社は、複数の受賞歴のあるニュージーランドのツアー会社で、自然に基礎を置いています。マオリ(カイコウラのカティクリ族、南島のナイタフ族の末裔)のメンバーによって経営・運営されています。

ホエールウォッチ社は、マオリ族がカイコウラの経済不振の影響を受けた1987年に設立されました。困難な時勢の中、カティクリ族のビル・ソロモンらのリーダーたちは地元のマッコウクジラたちがマオリ族コミュニティの雇用問題の解決策を握っていると信じていました。なぜなら、自分たちの祖先パイケアが、トホラというクジラの背中に乗り、新天地を求めてニュージーランドへやって来たことを記憶していたからです。ですから、パイケアの子孫たちが再びクジラの背中に乗って新しい世界を見出そうとしたことも、当然といえるかも知れません。

そして、その信念は証明されました。

カティクリ族のホエールウォッチ創業者たちは、自宅を抵当に入れてローンを借り入れ、ビジネスを立ち上げました。創立当初は小さなゴムボートでツアーを催行していましたが、やがて時が経ち、ゴムボートはさらに大

きな展望デッキ付きのUrua号へとバトンタッチしました。今日では、ホエールウォッチング仕様の近代的なカタマラン船5隻からなるホエールウォッチ船団へと発展しました。ホエールウォッチ船団の拡大により、サウスベイにマリーナを建設する必要が生まれました。現在では、このマリーナからすべてのホエールウォッチングツアーが出發しています。

ホエールウォッチ社の驚くべき成功によって、カイコウラはさまざまな海洋生物とのエキサイティングな遭遇を楽しめる、ニュージーランド屈指の観光地となりました。ホエールウォッチ社では、新たな宿泊施設やレストラン、立ち並ぶすばらしいカフェや地元アーティストの作品を展示したギャラリーなどへの投資も盛んに行っています。

今なおホエールウォッチ社の中心的シンボルとなっているパイケアとトホラは、人間界と自然界とのスピリチュアルな結びつきを象徴しています。自然界を搾取するのではなく敬うことにより、その結びつきが明らかになる可能性を語りかけているのです。

必要な携行品

暖かい服装

ホエールウォッチ船はすべて完全に覆われていますが、海洋生物の見学の際には外に出るため、暖かい服装を着用する必要があります。

カメラ

ツアーに備えて、カメラに十分なバッテリーとメモリ残量があることを確認してください。バッテリーとメモリカードは小売店で購入可能です。

食べ物と飲み物

船上では食べ物や飲み物は提供していませんが、軽食や冷たいお飲み物などを自由にご持参ください。食べ物や飲み物はFlukes Caféでも購入可能です。船内には噴水式の水飲み器があります。

酔い止め薬

船酔いしやすい方は、出航前に酔い止め対策をしておくことをお勧めします。弊社では酔い止め薬は販売しておりませんのでご了承ください。酔い止め薬は、薬局で購入できます。以下のような医薬品ではない酔い止め対策品は、弊社のホエールウォッチショップでも販売しています。

アキュストラップ (Acustrap) - 手首のツボに軽い圧を与えるリストバンドを貸し出しています。

@Easeタブレット - 最高で12時間、乗り物酔いを抑える効果のある自然処方>@Easeが購入可能です。

さらに強力な酔い止め薬は、市街中心部にあるカイコウラ薬局(ホエールウェイ・ステーションから片道徒歩10分)で購入できます。

ホエールウォッチ社 オフィス

ホエールウォッチ社の予約オフィスは、カイコウラのホエールウェイ・ステーションに位置しています。こちらがチェックイン・ポイントとなります。

ホエールウェイ・ステーションには、以下の施設も併設しています：

Flukes Café (カフェ) - 素晴らしいビーチフロントのロケーションで、いれたてのコーヒーや紅茶、冷たい飲み物、日替わりの朝食とランチ、終日用意している軽食などを楽しめます。

ホエールウォッチ・ショップ - このショップでは、ホエールウォッチに関連するユニークで幅広いお土産品、工芸品、ギフト、本や服などを販売しています。

テレビ・ビデオルーム - 弊社のTV/ビデオルームでは、海洋野生生物に関するDVDを常時放映しています。これらのDVDは字幕無しで英語のみとなりますのでご了承ください。



チェックイン

すべてのツアーの催行は、海上および天候の状況次第となります。各ツアーの船長は、チェックイン時間の10分前までにツアー催行の最終判断を下します。予約カウンターとカフェに設置の掲示板には、1時間毎に各ツアーの実施状況が表示されます。

ツアー催行が確認され、掲示板に「チェックイン可 (now checking)」と表示された時点で、予約スタッフがチケットの発券を開始いたします。

海上や天候の悪状況によりツアーがキャンセルとなった場合、他のツアーにスケジュール変更したい旨をスタッフまでお知らせください。

ツアー時間は、ツアーのチェックイン時間を指しており、出発時間ではありませんのでご注意ください。

お支払いには、現金、EFTPOS、ニュージールランドドル(NZD)立てのトラベラーズチェック、Dinersを除くすべての主要クレジットカードを利用できます。お支払い後、チケットと予約レシートをお受け取りください。チケットは、バスと船に乗る際に使用します。予約レシートは、キャンセルや払い戻しの際に必要となりますので保管しておいてください。

チェックイン手続きには通常30分かかります。

出発前に安全についての簡単な説明が行われます。この際、字幕付きDVDが放映されますが、英語のみとなっています。

港までのホエールウォッチバス

チェックインと安全についての説明の終了後、ホエールウォッチバスでツアー船が発発するサウスベイハーバーに移動します。

バスはFlukes Café(カフェ)前から出発します。

サウスベイまでの所要時間は、約8～10分です。ホエールウォッチの船上クルースタッフと対面の後、いよいよ乗船します。



ホエールウォッチ チケットご購入に関する諸条件

ホエールウォッチ・シートリップチケットのご購入前に、以下について必ずご一読ください。

天候・キャンセルについて

ホエールウォッチ社では、お客様の安全を確保するために、ツアーのキャンセルや変更、また使用船を変更する権利を常に有しています。天候と海の状況は急変することがあるため、ツアーの催行状況も常時変更の可能性がありますのであらかじめご了承ください。海が荒れている場合、船長の判断により、乗船できるお客様の最低年齢を引き上げたり、健康や移動上の問題がある方、妊娠中の方のツアー参加をご遠慮いただく場合もありますのでご了承ください。

健康・安全について

健康や移動上の問題がおありの方、または妊娠中の方で、天候や海の悪状況により影響が及ぶと思われる場合、ツアー当日のチェックイン時に当方まで必ずお知らせください。

指示の遵守について

お客様ご自身ならびに他の参加者の方々にできる限り安全なツアーを楽しんでいただくため、出発前～ツアー中～到着後まで、弊社スタッフによるすべての適切な指示に従ってください。また、同伴のお子様についても同様に指示を遵守させるよう同意いただきます。個人の所有物の安全確保と保護とは、常にお客様ご自身の責任で行ってください。

保証について

ツアー中、クジラは非常に高い確率で見ることができますが、必ず見られるという保証はございません。もしもツアー中にクジラを見ることができなかった場合には、ツアー費用の80%払い戻しを保証いたします。

料金に関する諸条件の概要について

ツアーのキャンセル

海や天気悪状況によりツアーがキャンセルとなった場合、ツアー参加費は全額払戻いたしません。

ご注意:

予約の変更には手数料はかかりません。チェックイン時間までにお客様からのキャンセルの連絡がなかった場合、払戻はできません。

諸条件への同意

ツアーチケットのご購入と同時に、上記の諸条件を理解し、同意したことと見なされます。また同時に、次のことに同意したと見なされます。

1. お客様の後継者、遺言執行者、管財人および最近親者も、この諸条件の制約を受けること。
2. ツアーの危険性に関する訴訟や訴訟手続きをいずれの国でも行わないこと、および、そのようなクレームについて当社に責任を問わないこと。

3. ツアー中に負傷や事故、病気が発生した場合、医療的処置を受けること、そしてその処置に関するクレームについて当社の責任を問わないこと。
4. ツアー中に撮影されたイベントや人々の写真、フィルム、音声、ビデオ、その他いかなる記録物も、当社の許可なく宣伝や広告に使用しないこと。ただし、当社が事前の許可なしに完全に独自の裁量によって、このような画像や記録物を使用する場合があること。

どうぞツアーをお楽しみください。上記諸条件についてのご質問・お問い合わせは、スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

使用する船についての情報

ホエールウォッチング用に設計された近代的なカタマラン船は、水面下での騒音を最小限に抑えたエンジンと、海を全く汚染しないトイレを装備しています。完全に覆われたメインキャビン、景色を眺めたり写真を撮るのに最適な広い外部デッキがあります。エアコン付きで広々とした船内には快適な座席が備わり、巨大なプラズマスクリーンでは受賞歴のある海洋野生生物のアニメーションを放映しています。各ツアーの乗船人数は船の定員よりも少なく設定されており、プライベート感覚のツアー体験に配慮されています。

ホエールウォッチ船のポリシーと手順は以下のとおりです。

船の安全性の処理手順

- ・クルーは緊急時処理手順の訓練を受けています。万が一緊急事態が発生した場合には、クルーの指示に従ってください
- ・船のすべての出口には、分かりやすい表示が設置されています

- ・シートポケットまたはメインキャビンの壁にあるセーフティーカードをご一読ください(英語のみ)
- ・ライフジャケットの装着手順は、シートポケットまたはメインキャビンの壁にあるセーフティーカードに記載されています

船内での順守事項

- ・船の操行中は、立ち上がらないでください
- ・船内は完全禁煙です
- ・ゲートには寄りかからないでください
- ・保護者の方はお子様から常に目を離さないでください
- ・トイレを使用したい場合はクルーにお知らせください。快適に使用できるよう船が速度を落とし、クルーがお客様の居場所を把握します

- ・ゴミは船内に設置のゴミ箱にお捨てください。船外には投棄しないでください

船酔いの対処方法

- ・船酔いした場合は、横になるか立った状態で、動かない一点をじっと見つめます。その他には、人差し指や耳たぶをつまむ方法もあります
- ・エチケット袋は座席前のポケットの中にあるか、ない場合はクルーがお持ちします。使用済みのエチケット袋を捨てる際にはクルーまで気兼ねなくお知らせください。
- ・船内にはティッシュペーパーが備え付けられています。必要な場合はクルーまでお知らせください。
- ・リクエストに応じて水も用意しています。





ツアーの概要

ホエールウォッチの船上クルーは、最大4名で構成されています。

- ・ 船長
- ・ 健康・安全担当者
- ・ ウォッチキーパー
- ・ ナレーター

ツアーの主目的はマッコウクジラを探し、見学することです。クジラが水中に潜行する時間により、ツアーあたり平均1~2頭のクジラを見学できます。カイコウラでは、マッコウクジラの潜水時間は40~60分です。主に海岸沿いに見られるマッコウクジラはすべてオスです。クジラ達は互いに数マイルの間隔を保ちながら緩やかな群れを形成しているので、一回のツアーで1~2頭以上のクジラを見ることができたなら本当に幸運といえます。全世界の約80%のクジラとイルカの種がこの海岸線一帯を通過しているため、ツアー中には、シロナガスクジラ、ナガスクジラ、イワシクジラ、ザトウクジラ、ミンククジラ、ゴンドウクジラ、シャチ、セミクジラ、マイルカ、バンドウイルカ、シロハラセミイルカ、ゾウアザラシ、ヒョウアザラシなどの他の海洋哺乳類と遭遇するチャンスもあります。

乗船時間:

海上で過ごす時間は、約

2
時間
20
分です

マッコウクジラの見学後に残っている時間次第では、船長の判断により海岸線沿いに移動して、他の海洋生物を探しに行く場合もあります。ハラジロマイルカ、セツパリイルカ、ニュージーランドオットセイなどを見ることがあります。カイコウラには、世界中の海鳥の約75%が生息しており、シロアホウドリ、ワタリアホウドリ、マユグロアホウドリ、ウミツバメ、ミズナギドリ、クジラドリ、フルマカモメ、カツオドリ、アジサシとアオサギなどが見られます。



マッコウクジラについて

浮力

体内の大量の油によって、クジラは水中で自然に浮力を得ています。頭部の鯨蠟の温度を調整することで、マッコウクジラは浮力を調節していると考えられています。クジラが水面の寒気にさらされると、油は冷やされて固形のワックスに変化します。ワックスは水よりも高密度なため、この助けを得てクジラは水面下に潜れるのです。

そして鯨蠟周辺の毛細血管へと血液を送り込むことで、ワックスは融けて鯨油に戻り、クジラは水面へと上昇できます。

大きさはどのくらいですか？

- ・マッコウクジラは最大の肉食動物(ハクジラ類)で、クジラの仲間では4番目に大きい種類です。
- ・オスのマッコウクジラは体長15~20mに成長し、体重は40~60トンに達します。
- ・メスのマッコウクジラはオスよりもおよそ30~40%小型で、体長約12mまで成長します。

マッコウクジラの歯

- ・マッコウクジラは、下顎に左右各20~30本の円錐形の奥歯があります。上顎には口を閉じた時に下顎の歯が入り込むための窪みがあります。
- ・マッコウクジラは、歯を噛むためには使いませんが、クロコダイル(ワニ)のように素早くかぶりついて丸飲みします。
- ・マッコウクジラの1本の歯は、重さ1kg、長さは20cmに達します。

マッコウクジラの一生

- ・オスのマッコウクジラは、誕生後8~12年間、家族の群れと共に熱帯の海で過ごします。
- ・群れのメスは、子クジラの泳ぎが上達するまで約2年間サポートします。
- ・オスが大体10歳で思春期を迎えると、家族の群れを離れて独身のクジラだけで群れを作り、カイコウラ沖などの餌場へ移動します。
- ・オスのマッコウクジラは完全に成長するまでパートナーを作らないので、それまでの間は減りに餌場を離れることはありません。
- ・マッコウクジラの寿命は70歳以上です。

どこで見られますか？

- ・ マッコウクジラは世界中の海に住んでおり、通常水深400m以上の海底谷にいます。
- ・ マッコウクジラは、カイクウラの海岸線沖では1年中見ることができます。
- ・ カイクウラの海底谷は、オスのマッコウクジラの餌場です。
- ・ オスのマッコウクジラは約30～40cmの脂身(脂肪)を内蔵器官の周りに蓄えています。この脂身はウェットスーツのような役割を果たし、クジラを冷たい水から保護しています。この同じ水温は、オスのように厚い脂肪層をもたないメスのクジラには冷たすぎます。
- ・ そのため、メスのマッコウクジラは通常、熱帯に近い、もっと温かい海に住んでいます。

何を食べますか？

- ・ マッコウクジラはハブカ(マハタの一種)、リング、マグロ、ブラックシャーク、キングフィッシュなどの大型の海水魚を食べますが、好物はイカです。
- ・ マッコウクジラは捕獲が難しいダイオウイカなど、さまざまな種類のイカを食べます。
- ・ 数多くの自然科学者達がここカイクウラで何度も試みたにも関わらず、生きているダイオウイカの姿は日本沖にある自然生息地でしか見られませんでした。
- ・ ダイオウイカは平均で体長12mまで成長しますが、18m以上にまで大きくなることも知られています。

エコー位置探知

鯨蠟を通過した音波は、強化され増幅されます。マッコウクジラは世界で最も騒々しい生き物のひとつであると言われており、230デシベルという音量を記録したこともあります。マッコウクジラは、このソナーをエサの位置を知るためだけでなく、エサを失神させたり殺すためにも使っていると考えられています。

マッコウクジラの頭部

- ・ マッコウクジラはどの動物よりも大きな脳を持っています。脳は大体バスケットボールと同じサイズで、人間の脳の約7倍の大きさです
- ・ マッコウクジラの頭部には鯨蠟(げいろ)があり、約2.5トンの油が含まれています
- ・ かつて鯨蠟が精子や精液だと思われていたのが、マッコウクジラの英語名(sperm whale/スパームホエール)の由来です
- ・ かつてはロウソク、化粧品、ミシンなどの産業用機械の潤滑油として多用されていました。ロールス・ロイスのエンジンや変速機、初期のアポロ宇宙計画でも使われていたことで有名です
- ・ 鯨蠟は、エコーでの位置探知や浮力の調整に使われていると考えられています

深海への潜水

- ・ カイクウラ沖のマッコウクジラは、40～60分間、水深1000m以上まで潜ります。
- ・ マッコウクジラは世界で最も深くまで潜水できる哺乳類で、2時間以上にわたり、3000m以上の深さまで潜水可能です。



ホエールウォッチ 船上ビジュアル・プレゼンテーション

ツアーの間、「クジラの世界 (World of the Whales)」の船上ビジュアル・プレゼンテーションが放映されています。参加者の皆さんをバーチャルなカイコウラ海底谷の底へとお連れします。プレゼンテーションには、カイコウラの海に棲むさまざまな海洋生物についての情報も盛り込まれています。プレゼンテーションは英語のみで字幕はありませんので予めご了承ください。

アニメーション・リサーチ社によって開発された技術で製作された「クジラの世界」は、世界初のホエールウォッチング向けプレゼンテーションです。

カイコウラ海底谷

- ・最大幅5km
- ・深さ1600m以上
- ・大陸棚の端は、落差1000mにおよぶ垂直に近い崖になっています
- ・世界でも数少ない、大陸棚の端が陸地に近接している場所の一つです

- ・グースベイから1km沖は、水深800m以上あります
- ・カイコウラ海底谷の開口部は、ヒ克蘭ギ海溝の起点となっています
- ・海底谷は北島に向かって1700kmに渡って続き、ギズボーンの近くにあるマヒア半島から沖に向かって伸びています
- ・南半球で最大の海底谷です
- ・この海底谷は、クジラたちが捕食場所と繁殖場所との間を行き来する際に使われる一連の海底谷の一部です

カイコウラの海洋食料資源 — 亜熱帯収束線

- ・暖流が熱帯から流れこみ、南極から来る栄養に富んだ寒流とぶつかります
- ・栄養素が海底谷に流れ込んでかき混ぜられ、水面へと押し上げられます(湧昇と呼ばれます)
- ・食物連鎖が発生します。微小な植物プランクトンが動物プランクトンやオキアミなどの小さな生物の食物となる → それらをイカや小魚が捕食 → 小魚をさらに大きな魚が捕食 → 大きな魚をさらに鳥、アザラシ、イルカ、サメ、クジラが捕食

ハラジロマイルカ (DUSKY DOLPHIN)

ホエールウォッチツアーでは、身のこなしの軽い、小型のずんぐりしたイルカをたびたび見かけます。ハラジロマイルカは、カイコウラ沖周辺に数多く生息しており、捕食や交尾の儀式のために海から飛び跳ねる劇的な光景を見ることができます。100～1000頭の群れで生息し、体長2mまで成長します。

セツパリイルカ (HECTORS DOLPHIN)

変わった丸い背びれを持つ世界最小で最も稀少な海洋イルカで、ニュージーランド周辺の海域だけに生息しています。カイコウラでは、海岸付近に4～8頭の小さな群れをたびたび確認できます。セツパリイルカは、漁網や農場から排出されるリン酸肥料による海岸の汚染に脅かされており、絶滅危惧種に分類されています。寿命は20年で、体長1.5mまで成長します。

ニュージーランドオットセイ (NEW ZEALAND FUR SEALS)

ニュージーランドオットセイは、カイコウラ海岸沿いの道路のさまざまなポイントから観察できます。前世紀にはその毛皮のため、乱獲されて絶滅寸前となりましたが、以来、保護対象種となりました。オットセイとその赤ちゃんたちは、カイコウラ半島のポイントキーンのオットセイ繁殖地で間近に見ることができみあす。カイコウラ地区から徒歩または車で簡単にアクセス可能です。



ツアーの終了

ツアーが終了するとホエールウォッチ船はサウスベイハーバーへ帰港します。そこからホエールウォッチバスに乗り換えて、ホエールウェイ・ステーションへと戻ります。

払戻について

すべてのツアーが成功のうちに終了するわけではありません。ツアーのクオリティーに応じて船長が払戻の理由と金額を判断し、船上クルーがその旨をお伝えいたします。そのような場合には、予約レシートをご持参の上、予約カウンターにて払い戻しを受けてください。

ホエールウォッチ・カイコウラのチームを代表して、ツアーへのご参加を心より感謝いたします。

ご意見・ご感想等は、ホエールウェイステーション備え付けのコメントカードにご記入ください。

皆様からのフィードバックをお待ちしています。



ホエールウォッチ

カイコウラ | ニュージーランド

www.whalewatch.co.nz